

園長だより

2024年11月29日

園長 澄川忠男

あいさつの声が響きます！

朝、外で子どもたちを迎えるとき、「おはようございます！」「おはよう！」という子どものあいさつの声が響くことが、ずいぶんとふえてきました。

その声が聞こえるとうれしくなります。保護者の方が「あいさつは？」と促してくださってあいさつする場合があります。それでも全然OKです。声が出ない子もいます。でもきっと心の中ではあいさつをしてくれていると思います。OKです。

私たち大人があいさつをしていると、子どもはします。今はできなくともいつかはできます。私はそう信じています。自分は、子どものころはあいさつをしない子でした。でも、親は「あいさつをきなさい！」と口を酸っぱくして言い続けました。そんな親に子どもの時は反発していましたが、今は感謝しています。大人になってから、私は、「相手より先にあいさつをする！」を心がけています。先に言われると「負けた～」と心の中で思っています。

第一幼稚園が、明るく元気良いあいさつの声が響く園になってほしいです。4つのおやくそくの一つ「あかるくげんきに！」を達成した姿の一つです。ちなみに、高校生や短大生は学園内で出会うと、自分から先にあいさつをしてくれる子が多いと思います。高校生や短大生に負けられないようにしないと！

3学期に向けて

ちょっと気が早いですが、12月になるので「3学期に向けて」を考える時期になりました。一年間のまとめの学期です。次のクラスに進級したり、小学校に入学したりするために、子どもたち自身が振り返ったり、担任が振り返ったりしていく時期です。

小学校で勤務しているとき「**3学期は次の学年の0学期！**」という話を全校朝会や校長室だよりでしていました。3学期は文字通りに、1～3学期という分け方での「まとめの学期」という意味で使うのが一般的です。しかし、次の年度（学年）の準備の段階という考え方が「3学期は次の学年の0学期！」という言葉には含まれています。「まとめ」と「準備」を同時進行で行うのが3学期です。

本園でも新年度に向けての準備をしていきたいと考えています。子どもたちが、今のクラスから次のクラスになるために、今よりも少しお兄さん・お姉さんとして考えたり行動したりすることができるように教職員で見守り励ましていきたいと考えています。

そのほかにも、ICTの導入に向けての準備をしていきたいと考えています。来年度に向けて、いろいろなことが変わる方向で業者や学園事務局とも話しているところです。今年度も、ホームページなどで情報提供を密にして、保護者の方や一般の方に第一幼稚園のことを知っていただく努力はしているのですが、少し感じていただいているのでしょうか。来年度はもっと園での子どもたちの様子を知ってもらうとともに、その他もICTの活用によって変わっていく方向にできないかを各方面と相談中です。その節は、またお知らせしますので、ご協力をお願いいたします。

